

《7月議会臨時会》

7月29日に臨時会が開かれ、市長提出議案2件を審議し承認・可決しました。

第62号 専決処分の承認

新型コロナウイルス感染症対策の一環として低所得のひとり親世帯を支援するひとり親世帯臨時特別給付金給付事業を実施することに伴い、一般会計予算に6640万円を追加・補正する。

問 ひとり親世帯臨時特別給付金は、全額国からの補助金で賄われる。

給付対象者が3つに区分されているが、問題は子育て支援課で把握していない方である。対象となる方にどうやって通知するのか、方策を伺う。

答 市で把握できていないひとり親家庭向けに、別冊広報白岡7月号や市公式ホームページで情報発信を行っている。今後も広報しらおか8月号にも掲載するなど、さらなる周知を図っていく。

第63号 令和2年度一般会計補正予算

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、感染拡大の防止や影響を受けている地域経済・市民生活を支援し、「新しい生活様式」を確立するため、歳入歳出それぞれ4億9776万8千円を追加し、歳入歳出総額を211億8861万4千円とする。

問 広報紙発行事業について、既存の紙面に類似となると思うが、感染症の発症当初、広報では発熱時の対応チャートで「かかりつけ医」や「医師会」の項目が見られた。

しかし、これらは普段からなじみがなく、よりどころにはならなかった。平時からこれらを頼りになる実態のあるものにして、今回のような事態に備えるべきと思うがいかがか。

早期に着手すれば国の交付金により、ある程度システム構築できるのではないか。地方の小さな市からの発想が必要ではないか。

答 かかりつけ医などがまだまだ普及していないのは感じている。感染症に関する計画の見直しの中で、自治体や地方医療のあり方を検討していきたい。また、感染症対策は県が中心となるため、それを踏まえた上で調整しながら整備していく。

交付金等の活用については、どのようなスケジュールになるかも踏まえ、可能な限り取り組んでいきたい。

問 のりあい交通で午前みの車両を1台増やすとのことだが、期間は。終了後も継続すべきと考えるが、どうか。

答 期間は、9月1日から2年度末までを予定している。

今後については、国の交付金や市の財政状態を勘案し検討する。また、今回の増車による運行実績をよく分析し、新しい生活様式に対応した運行内容の見直しの参考にする。

問 「民生委員・児童委員協議会運営費助成事業」で購入する防犯ベストを着用した民生委員の方に、見守りの一環として、独居の方や、なかなかお会いできない方などを訪問する時に、「新型コロナウイルス感染防止・健康維持支援事業」で作成するパンフレットを活用してはどうか。

答 幅広い世代に活用していただくため、パンフレットは全戸配布を考えている。

民生委員・児童委員が、地域見守り活動でお宅を訪問した際には、お手元にお届けしたパンフレットを活用し、内容の説明や様々な相談に応じることで、見守り活動がより充実したものになると考える。

問 学校給食無償化事業は家計負担の軽減策として大変優れた事業であると考えている。

コロナ禍のなか、全国的に見れば生活保護受給や生活福祉資金の特例貸付制度を利用する方々が急増している。いつ収束するかかわからないコロナ禍、今後さらに家計を逼迫する世帯が増えることが予想される。学校給食の8月みの無償化は、蓮田市など近隣の市と比べてみて低い水準と言わざるを得ない。